

- 歯学会平成15年度第2回例会,新潟市,2003年11月8日.
- 55) 新垣 晋, 星名秀行, 林 孝文: 口腔腫瘍外来の現状. 新潟歯学会平成15年度第2回例会, 新潟市, 2003年11月8日.
- 56) 碓井由紀子, 武藤祐一, 松井 宏, 笠井直栄: 当科における最近3年間の手術症例の臨床的検討. 新潟歯学会平成15年度第2回例会, 新潟市, 2003年11月8日.
- 57) 児玉泰光, 高木律男, 小野和宏, 飯田明彦, 福田純一, 朝日籐寿一: 著明な顎骨の非対称を呈した進行性顔面半側萎縮症の1例. 日本形成外科学会関東支部第63回新潟地方会, 新潟市, 2003年11月10日.
- 58) 星名秀行, 青柳貴之, 長島克弘, 藤田 一, 齋藤正直, 高木律男, 橋本明彦: 腭骨・インプラント義歯により咬合再建を行った下顎腫瘍の2例. 第22回日本口腔腫瘍学会, 金沢市, 2004年1月22, 23日.
- 59) 長島克弘, 星名秀行, 藤田 一, 田中 賢, 齋藤正直, 高木律男: 温熱化学放射線療法にTXTを併用した進行口腔癌の5例. 第22回日本口腔腫瘍学会, 金沢市, 2004年1月22, 23日.
- 60) 福田純一, 高木律男, 小野和宏, 永田昌毅, 飯田明彦, 児玉泰光: 二段階口蓋形成手術を施行した唇顎口蓋裂症例の顎発育 - 成長終了時の顎骨形態と咬合について -. 日本形成外科学会関東支部第64回新潟地方会, 新潟市, 2004年2月9日.

【研究会発表】

- 1) 星名秀行, 永田昌毅, 飯田明彦, 長島克弘, 藤田 一, 関 雪絵, 田中 賢, 齋藤正直, 青柳貴之, 鶴巻 浩, 高木律男: 進行・再発下顎骨肉癌5例に対する温熱化学放射線療法の治療成績. 第17回新潟ハイパーサーミア研究会, 新潟市, 2003年5月30日.
- 2) 黒川 亮: 診断に苦慮している顎顔面領域および縦隔に生じた腫脹性病変の1例. 第52回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2003年6月19日.
- 3) 永田昌毅, 関 雪絵, 高木律男, 網塚憲生, Glen Nuckolls, Harold Slavkin: Apert症候群型変異FGFR2の頭蓋顔面発育に対する特異的作用とそのメカニズムについて. 第3回新潟ゲノム医学研究会, 新潟市, 2003年6月28日.
- 4) 山中正文, 飯田明彦, 高木律男, 小野和宏, 星名秀行, 藤田 一, 長島克弘, 池田順行, 福田純一: 顎口腔領域癌患者における上部消化管内視鏡検査(GIF)の検討. 新潟癌治療研究会, 新潟市, 2003年7月26日. 新潟医学会雑誌, 2003.
- 5) 齋藤正直: 33年後に再発した巨大な上顎エナメル上皮腫の1例 - 最終顎補綴の検討を含め -. 第53回

- 新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2003年11月27日.
- 6) 相田 恵, 前田健康, 高木律男, 瀬尾憲司: 三叉神経尾側亜核におけるサブスタンスPおよびNK1受容体の生後発育. 学術フロンティア推進事業合同研究集会, 湯沢, 2004年3月26, 27日.
- 7) 大島勇人, 田中容子, 監物新一, 池亀美華: 歯の再植後の歯髓内硬組織形成について. 学術フロンティア推進事業合同研究集会, 湯沢, 2004年3月26, 27日.
- 8) 山中正文, 飯田明彦, 高木律男, 小野和宏, 星名秀行, 藤田 一, 長島克弘, 池田順行, 福田純一: 顎口腔領域癌患者における上部消化管内視鏡検査(GIF)の検討. 佐渡医学集談会, 佐渡市, 2004年2月.

【その他】

- 1) 高木律男: 口蓋裂ってどんな病気? - 赤ちゃんから大人まで. 第17回母親教室 口蓋裂診療班運営委員会, 新潟市, 2003年6月10日.
- 2) 星名秀行: 口腔腫瘍切除後の移植顎骨に対するインプラント義歯による咬合再建. 岩手医大歯学部同窓会新潟県支部会, 新潟市, 2003年7月5日.
- 3) 星名秀行: 口腔癌の治療と再建. 平成15年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟大学歯学部, 2003年9月24日.
- 4) 飯田明彦: 口唇口蓋裂. 長岡赤十字病院看護学校講義, 2003年11月11日.
- 5) 寺尾恵美子: 第18回母親教室 口蓋裂診療班運営委員会, 新潟市, 2003年11月18日.
- 6) 飯田明彦: 培養口腔粘膜移植について. 社会保険支払基金学術講演会, 新潟市, 2003年11月20日.
- 7) 永田昌毅: 口腔腫瘍の初期診断と歯科医師の役割. 平成15年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟大学歯学部, 2003年12月24日.

摂食機能再建学分野

【論文】

- 1) Tanaka M, Toyooka E, Kohno S, Ozawa H, Ejiri S: Long-term changes on trabecular structure in aged rat alveolar bone following ovariectomy. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod. 95(4): 495-502, 2003.
- 2) Okayasu I, Yamada Y, Kohno S, Yoshida N: New animal model for studying mastication in oral motor disorders. J Dent Res, 82(4): 318-321, 2003.
- 3) MD. M. Rahman, Kohno S, Kobayashi H, Sawada K: Influence of the inclination of the plate of an

- intra-oral tracing device on the condylar position registered by tapping movement. *J Oral Rehabil* (in press)
- 4) Ishida Y, Komaru K, Ito M, Amaya Y, Kohno S, Oda K : Tissue-Nonspecific Alkaline Phosphatase with an Asp289 Val Mutation Fails to Reach the Cell Surface and Undergoes Proteasome-Mediated Degradation. *J Biochem*, 134(1): 63-70, 2003.
- 5) Yamada K, Nozawa-Inoue K, Kawano Y, Kohno S, Amizuka N, Iwanaga T, Maeda T : Expression of estrogen receptor alpha (ER alpha) in the rat temporomandibular joint. *Anat Rec*. 274A(2): 934-941, 2003.
- 6) Yamada K, Fukui T, Tsuruta A, Hanada K, Hosogai A, Kohno S, Hayashi T : The relationship between retruded contact position and intercuspal position in patients with TMJ osteoarthritis. *Cranio*. 21(4): 240-247 2003.
- 7) Tsuruta A, Yamada K, Hanada K, Hosogai A, Tanaka R, Koyama J, Hayashi T. Thickness of the roof of the glenoid fossa and condylar bone change : a CT study. *Dentomaxillofac Radiol*. 32(4): 217-221, 2003.
- 8) Gapido GC, Kobayashi H, Miyakawa O, Kohno S : Fatigue resistance of cast occlusal rests using Co-Cr and Ag-Pd-Cu-Au alloy.s. *Journal of Prosthetic dentistry*, 90(3): 261-269, 2003.
- 9) Akemi Tsuruta, Kazuhiro Yamada, Kooji Hanada, Jun-ichi Koyama, Takafumi Hayashi, Akiko Hosogai, Shoji Kohno. Comparison of condylar positions at intercuspal and reference positions in patients with condylar bone change. *Journal of Oral Rehabilitation*. (in press)
- 10) Akemi Tsuruta, Kazuhiro Yamada, Kooji Hanada, Jun-ichi Koyama, Takafumi Hayashi, Akiko Hosogai, Shoji Kohno. Relationship between morphological changes of the condyle and condylar position in the glenoid fossa. *Journal of Orofacial Pain*. (in press)
- 11) 村田はるか, 河野正司, 櫻井直樹 : 顎関節症患者のタッピング時の頭部運動様相と臨床症状との関連 . *日本顎関節学会雑誌* . 15(1): 60-68, 2003 .
- 12) 小笠原正卓, 河野正司 : 咀嚼運動時に観察される身体重心動揺の時系列分析の試み . *日本全身咬合学会雑誌* . 9 : 6-13, 2003 .
- 13) 李 虹, 河野正司, 子田 浩 : 側方滑走運動記録法の変化が下顎運動へ及ぼす影響分析の試み . *新潟歯学会雑誌* . 33(1): 31-35, 2003.
- 14) 櫻井直樹 . 間欠性ロック症状を有する顎関節症有痛患者に対してチームアプローチを行った症例 . *日本補綴歯科学会雑誌* . 47(2): 365-366, 2003 .
- 15) 木内延年, 河野正司, 池田圭介, 道見 登, 植田耕一郎 : パラトグラム舌運動機能診断法をもとにした舌接触補助床による摂食嚥下障害者の治療 . *日本補綴歯科学会雑誌* . 47(1): 135-144, 2003.
- 16) 岡安一郎, 山田好秋, 河野正司, 吉田教明, 前田健康, 大井久美子 : 口腔感覚受容器減少を伴う遺伝子改変 (BDN欠損) マウスの咀嚼運動 . *日本顎口腔機能学会雑誌* 9(2): 204-205, 2003.
- 17) 細貝暁子, 河野正司, 山田一尋, 林 豊彦, 子田浩 : 側方滑走運動における下顎頭の運動様相 ~ 下顎頭骨変化の有無による検討 ~ . *日本顎口腔機能学会雑誌* 9(2): 210-212, 2003.
- 18) 本間 済, 河野正司, 武川友紀, 金田 恒, 細貝暁子, 村田はるか : 咀嚼回数を指標とした咀嚼能力評価法について . *日本顎口腔機能学会雑誌* 9(2): 224-225, 2003.
- 19) 松井理恵, 河野正司, 花田晃治, 宮城尚史, 五十嵐直子, 澤田宏二, 細貝暁子, 石田陽子 : 骨格性下顎前突症例における食物摂取時の食品空隙量および頭部運動量測定を試み . *日本顎口腔機能学会雑誌* . 10(1): 61-66, 2003.
- 20) 宮城尚史, 福井忠雄, 山田一尋, 花田晃治, 伊藤綾, 林豊彦, 河野正司 : 骨格性下顎前突症患者における咀嚼運動時の解析 - 筋電図同時測定システムによる検討 - . *日本顎口腔機能学会雑誌* . 10(1): 94-95, 2003.
- 21) 細貝暁子 : CTと顎運動データの高精度かつ実用的な座標統一方法の開発 (A Precise, Functional Method for Coordinating CT and Jaw-motion Data) *新潟歯学会雑誌* . 33(1): 67-68, 2003 .
- 22) 澤田宏二 : 適正なガイドにより顎に加わる力を制御する . *顎機能誌* , 10, 25-30, 2003

【著書】

- 1) 河野正司 (編集および分担執筆) : 顎関節症 日本顎関節学会編, 永末書店, 東京, 2003.
- 2) 河野正司, 荒井良明 (分担執筆) : 顎位の指標はどの様式を採用するか 中心咬合位 咬頭嵌合位-顎頭安定位 それぞれの特色と補綴学的意義 指針A, 現代の治療指針, 全治療分野とカリオロジー, 別冊 the Quintessence YEARBOOK 2003, クインテッセンス出版, 346-347頁, 2003 .
- 3) 澤田宏二, 河野正司, その他12名 : 歯の移植の科学, the Quintessence 22(1): 18-19頁, 2003.

【商業誌】

- 1) 河野正司, 荒井良明: 顎位の指標はどの様式を採用するか 中心咬合位 - 咬頭嵌合位 - 顎頭安定位 それぞれの特色と補綴学的意義. 別冊 the Quintessence Year book 2003 現代の治療指針 全治療分野とカリオロジー, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 346-347, 2003.
- 2) 荒井良明, 河野正司: デジタル顎運動測定装置 KaVo ARCUS digma - 全運動軸を用いた顎運動の測定とフェイスボウやチェックバイトを用いない半調節性咬合器の調節が可能. 日本歯科評論, 63(7): 121-128, 2003.
- 3) 田中みか子, 河野正司, 江尻貞一: 卵巣摘出の歯槽骨骨梁構造に及ぼす影響. CLINICAL CALCIUM 13(5): 545-548, 2003.
- 8) 江尻貞一, 河野正司, 田中みか子, 網塚憲生, 池亀美華: 顎骨における骨粗鬆症の特異性解明と予防法の確立-卵巣摘出サル顎骨の解析と hPTH (1-34) 間欠投与-. 平成14年度文部省科学研究費補助金研究 基盤研究(B)(2)(継続), 課題番号13470382, 2003年.
- 9) 坂東永一, 桑原洋助, 河野正司, 藤村哲也, 中野雅徳, 竹内久裕, 郡 元治, 山内英嗣: 顎口腔機能診断のためのデータベース構築に関する研究. 平成14年度文部省科学研究費補助金研究 基盤研究(B)(1)(継続), 課題番号12470422, 2003年.
- 10) 金田 恒: 短縮歯列への補綴的修復治療 - その種類別臨床効果と選択基準 -. 平成15年度日本学術振興会研究費補助金研究 若手研究B(新規), 課題番号15791119, 2003年.

【研究成果報告書】

- 1) 河野正司, 林豊彦, 遠藤直人, 江尻貞一, 山田一尋, 中村康雄, 池田圭介, 田中みか子: 下顎運動に伴う頭部運動と身体動揺を指標とした咬合と全身機能との関連の解明. 平成15年度日本学術振興会研究費補助金研究 基盤研究(A)(2)(新規), 課題番号15209067, 2003年.
- 2) 佐藤(五十嵐)直子: 開口運動は頭頸と下顎の連合運動である, 平成15年度日本学術振興会研究費補助金研究 若手研究B(新規), 課題番号15791122, 2003年.
- 3) 池田圭介: 嚥下機能ならびに構音機能の向上に貢献する義歯床口蓋形態の設計方法, 平成15年度日本学術振興会研究費補助金研究 若手研究B(継続), 課題番号14771082, 2003年.
- 4) 河野正司, 八木稔, 澤田宏二, 池田圭介: 義歯装着前後におけるADLおよびQOLの改善に関する研究, 平成15年度日本学術振興会研究費補助金研究 萌芽研究(継続), 課題番号 14657500, 2003年.
- 5) 野首孝祠, 川崎貴生, 大山喬史, 河野正司, 赤川安正, 古谷野潔, 五十嵐順正, 長島 正: 部分床義歯における臨床実績調査結果に基づいた歯科医療への展開, 14年度日本学術振興会研究費補助金研究 基盤研究(A)(1)(継続), 課題番号14207085, 2003年.
- 6) 野村章子, 河野正司, 山田好秋, 野村修一, 植田耕一郎, 城 斗志夫, 高橋 肇, 相馬泰栄, 中澤孝敏, 佐々木 聡, 丸山 満, 江川広子, 本間和代: グルテンをベースとした摂食・嚥下障害者用介護食の開発, 平成14年度文部省科学研究費補助金研究 基盤研究(B)(2)(継続), 課題番号14370629, 2003年.
- 7) 大山喬史, 森本俊文, 河野正司, 片山芳文, 野首孝祠, 古谷野潔, 秀島雅之: 床義歯の設計様式が口腔感覚に及ぼす影響について, 14年度日本学術振興会研究費補助金研究 基盤研究(A)(1)(継続), 課題番号13307056, 2003年.
- 11) 櫻井直樹, 河野正司, 林 孝文, 鈴木一郎, 小林博, 星名 秀行, 寺田 員人, 八木 稔: 情報の暗号化を伴うネットワークを活用した顎関節症患者の遠隔診断支援システム構築. 平成15年度日本学術振興会研究費補助金 萌芽研究(新規), 課題番号15659462, 2003年.
- 12) 荒井良明: 顎関節のあそびと顎関節内障との関係. 平成15年度日本学術振興会研究費補助金研究 若手研究B(新規), 課題番号15791121, 2003年.
- 13) 河野正司, 八木稔, 澤田宏二, 池田圭介: 義歯装着前後におけるADLおよびQOLの改善に関する研究 萌芽研究(新規), 課題番号14657500, 2003年.

【講演・シンポジウム】

- 1) 河野正司: 咬合機能に協調する頭部運動. 日本顎口腔機能学会第30回学術大会・20周年記念大会, 岡山, 2003年4月19日. 同学会プログラム・事前抄録集, 12,13頁, 2003年
- 2) 河野正司: 下顎運動に附随する頭部運動. 第11回顎顔面バイオメカニクス学会, 新潟, 2003年9月6日. 同学会抄録集, 1-4頁, 2003年
- 3) 澤田宏二: 適正なガイドにより顎に加わる力を制御する. 日本顎口腔機能学会 第30回学術大会・20周年記念大会併催, 岡山, 2003年4月19日, 同学会プログラム・事前抄録集, 28-29頁, 2003年
- 4) 澤田宏二: 三要素から義歯設計を考える. 日本補綴歯科学会第110回学術大会, 長野, 2003年10月24日, 補綴誌47(110回 特別号), 42頁, 2003年
- 5) 荒井良明: 片側性遊離端欠損が咀嚼機能に及ぼす影響. 第110回日本補綴歯科学会学術大会, 長野,

2003年10月25日, 補綴誌47(110回 特別号), 38頁, 2003年

【学会発表】

- 1) 江尻貞一, 宮 琳, 田中みか子, 大橋直子, 関あずさ, 池亀美華: Alendronate と prostaglandin E receptor (EP4) agonist の顎骨粗鬆化に対する予防効果 - 加齢に伴う顎骨反応の変化に関する検討 -, 第108回 日本解剖学会学術大会, 福岡, 2003年4月1-3日, 解剖学雑誌 78 Supplement, 191頁, 2003年
- 2) 宮城尚史, 福井忠雄, 山田一尋, 花田晃治, 伊藤綾, 林 豊彦, 河野正司: 骨格性下顎前突症患者における咀嚼運動時の解析 - 筋電図同時測定システムによる検討 -. 日本顎口腔機能学会第30回学術大会・20周年記念大会, 岡山, 2003年4月19日, 同学会プログラム・事前抄録集, 46,47頁, 2003年
- 3) 細貝暁子, 河野正司, 子田 浩: 切歯路から側方滑走運動時の作業側下顎頭の運動様相をみる - 下顎頭骨変化の有無による検討 -. 第109回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2003年5月9日, 補綴誌47(109回 特別号), 116頁, 2003年
- 4) 小笠原正卓, 河野正司, 池田圭介, 松井理恵, 子田浩: 咀嚼運動が重心動揺に与える影響. 第109回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2003年5月9日, 補綴誌47(109回 特別号), 133頁, 2003年
- 5) 石田陽子, 河野正司, 織田公光: 突然変異型アルカリホスファターゼD289Vの細胞生物学的解析 - 顎骨組織における酵素の重要性 -. 第109回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2003年5月10日, 補綴誌47(109回 特別号), 159頁, 2003年
- 6) 田中みか子: 固定性ブリッジを用いて前歯部の咬合と審美性を回復した唇顎口蓋裂症例. 第109回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2003年5月10日, 補綴誌47(109回 特別号), 192頁, 2003年
- 7) 荒井良明: 間歇的な閉口筋筋スパズムに対して補綴学的対処療法が奏効した一症例. 第109回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2003年5月11日, 補綴誌47(109回 特別号), 191頁, 2003年
- 8) Tanaka M, Ikegame M, Ohashi N, Gong L, Hayashi T, Kohno S, Ejiri S: Possibility of screening for systemic osteoporosis using jaw bone data. 1st joint meeting of the international bone and mineral society and the Japanese society for bone and mineral research, Osaka, Japan, 3-7 June, 2003, Program P327S, 2003.
- 9) Ejiri S, Gong L, Tanaka M, Ohashi N, Seki A, Ikegame M: Effects of Alendronate and prostaglandinE receptor (EP4) agonist on ovariectomized monkey mandible. 1st joint meeting of the international bone and mineral society and the Japanese society for bone and mineral research, Osaka, Japan, 3-7 June, 2003, Program P483S, 2003.
- 10) 伊藤加代子, 豊里 晃, 安藤栄吾, 大内章嗣, 石上和男, 河内 博, 野村修一, 江面 晃, 河野正司: 要介護者口腔保健医療ケアシステムの開発 第一報 要介護者の口腔に関する実態調査. 第14回日本老年歯科医学会, 名古屋, 2003年6月19日, 2003年.
- 11) 渡邊(大橋)直子, 田中みか子, リズワナ ピンテアンワル, 河野正司, 花田晃治, 江尻貞一: 卵巣摘出によるサル下顎頭の骨密度および構造変化について. 第23回日本骨形態計測学会, 東京, 2003年7月4日, 日骨形態誌13(2) 51頁, 2003年.
- 12) 河野正司: 顎機能障害と補綴治療 (Occlusion and Temporomandibular Dysfunction). 第16回日本顎関節学会総会・学術大会, 鹿児島, 2003年7月11日, 同学会プログラム・抄録集65頁, 2003年.
- 13) 櫻井直樹, 河野正司, 小林富貴子, 小山純市, 林孝文: 顎関節患者の作業則ガイドの特徴に関する研究. 第16回日本顎関節学会, 鹿児島, 2003年7月11日, 同学会プログラム・抄録集, 149頁, 2003年.
- 14) 細貝暁子, 河野正司, 山田一尋, 林 孝文, 林 豊彦: 下顎頭骨変化による3次元骨関節隙量の変化 (Influence of condylar bone change on 3-D temporomandibular joint space). 第16回日本顎関節学会総会・学術大会, 鹿児島, 2003年7月11日, 同学会プログラム・抄録集156頁, 2003年.
- 15) 石田陽子, 河野正司, 小丸圭一, 伊藤将広, 天谷吉宏, 織田公光: 突然変異型アルカリホスファターゼD289Vの細胞生物学的解析. 平成15年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2003年7月12日, 同学会プログラム19頁, 2003年.
- 16) 小丸圭一, 石田陽子, 河野正司, 天谷吉宏, 織田公光: 突然変異型アルカリホスファターゼ(1559delT)の細胞内での動態. 平成15年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2003年7月12日, 同学会プログラム20頁, 2003年.
- 17) 石田陽子: 突然変異型アルカリホスファターゼD289Vは細胞表面に到達せずユビキチン/プロテアソーム系で分解を受ける. 第44回新潟生化学懇話会, 新潟, 2003年7月12日, 同学会プログラム1頁, 2003年.
- 18) 河野正司: 下顎運動に附随する頭部運動. 第11回顎顔面バイオメカニクス学会, 新潟, 2003年9月6, 7日, 同学会抄録集1-4頁, 2003年.

- 19) 細貝暁子, 河野正司, 山田一尋, 丸山智章, 林 豊彦, 花田晃治: 3次元骨関節刺激量の下顎頭骨変化による影響. 第62回日本矯正歯科学会新潟大会, 新潟, 2003年10月8-10日, 同学会プログラム・抄録集257頁, 2003年.
- 20) 本間 濟, 河野正司, 小林 博, 櫻井直樹: チェアサイドで行える咀嚼能力評価法の開発. 第110回日本補綴歯科学会学術大会, 長野, 2003年10月24日, 同学会誌47(110回特別号抄録集), 55頁, 2003年.
- 21) 小笠原正卓, 河野正司, 池田圭介: 咀嚼運動および噛みしめ負荷が身体重心動揺に与える影響. 平成15年度歯学会第2回例会, 新潟, 2003年11月8日, 同学会プログラム3頁, 2003年.
- 22) 宮城尚史, 山田一尋, 福井忠雄, 花田晃治, 河野正司: 骨格性下顎前突症患者における咀嚼運動時の顎口腔機能解析. 平成15年度歯学会第2回例会, 新潟, 2003-11-8同学会プログラム1頁, 2003年.
- 23) 松久淳子, 福井忠雄, 山田一尋, 新部洋史, 花田晃治, 河野正司: 骨格性下顎前突症患者における咬筋, 側頭筋の筋活動解析. 平成15年度歯学会第2回例会, 新潟, 2003-11-8同学会プログラム2頁, 2003年.

【その他】

- 1) 荒井良明: 顎関節症の基礎知識. ジーシーデンタルカレッジ, 東京, 2003年4月11日, 2003年.
- 2) 澤田宏二: 床義歯における咬合採得, 平成15年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟, 2003年7月2日, 2003年.
- 3) 河野正司: 臨床家のための咬合と顎関節症セミナー, 新潟, 2003年10月5日, 2003年.
- 4) 荒井良明: 咬合による力のコントロール, 平成15年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟, 2003年10月8日, 2003年.
- 5) 荒井良明: 顎関節症の基礎知識, 平成15年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟, 2003年10月15日, 2003年.
- 6) 澤田宏二: 移植歯と咬合接触状態. 平成15年度新潟大学歯学部同窓会セミナー, 新潟, 2003年11月30日同セミナープログラム5頁, 2003年.
- 7) 澤田宏二: 欠損歯列の考え方, 平成15年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟, 2004年1月14日, 2004年.
- 8) 河野正司: 総合討論・指定発言: 健康増進と高齢者歯科学 - 新潟スタディの結果と今後の展望 -. 平成15年度厚生労働科学研究ワークショップ「口腔保健と全身的な健康状態の関係について 新潟市高齢者コホート調査の成果と展望」, 東京, 2004年2月22日, 2004年.
- 9) 澤田宏二, 五十嵐直子, 清田義和, 葭原明弘, 河野正司: 高齢者の咬合力・咀嚼能力に関する研究. 平成15年度厚生労働科学研究ワークショップ「口腔保健と全身的な健康状態の関係について 新潟市高齢者コホート調査の成果と展望」, 東京, 2004年2月22日, 同プログラム抄録集9頁, 2004年.

【受賞】

- 1) 細貝暁子: 第16回日本顎関節学会学術大会 優秀ポスター発表賞, 2003年7月10日, 2003年.
- 2) 細貝暁子: 第110回日本補綴歯科学会学術大会 デンツプライ賞, 2003年10月24日, 2003年.
- 3) 石田陽子: 第110回日本補綴歯科学会学術大会 デンツプライ賞, 2003年10月24日, 2003年.
- 4) 本間 濟: 第110回日本補綴歯科学会学術大会課題口演コンペティション優秀賞, 2003年10月24日, 2003年.

加齢・高齢者歯科学分野

【論文】

- 1) Shinichiro Tada, Roxana Stegaroiu, Eriko Kitamura, Osamu Miyakawa, Haruka Kusakari: Influence of Implant Design and Bone Quality on Stress/Strain Distribution in Bone Around Implants: A 3-dimensional Finite Element Analysis. *International Journal of Oral & Maxillofacial Implants*, 18(3): 357-368, 2003. (May - June)
- 2) Eriko Kitamura, Roxana Stegaroiu, Shuichi Nomura, Osamu Miyakawa: Biomechanical aspects of marginal bone resorption around osseointegrated implants: Considerations based on a three-dimensional finite element analysis. *Clinical Oral Implants Research* (in press)
- 3) Masaki Shirakura, Noritaka Fuji, Hideo Ohnishi, Yuya Taguchi, Hayato Ohshima, Shuichi Nomura, Takeyasu Maeda: Tissue response to titanium implantation in the rat maxilla, with special reference to the effects of surface conditions on bone formation, *Clin. Oral Impl. Res.*, 14: 687-696, 2003.
- 4) Takeshi Suzuki, Shuichi Nomura, Takeyasu Maeda, Hayato Ohshima: An immuno-cytochemical study of pulpal responses to cavity preparation by laser ablation in rat molars by using antibodies to heat shock protein (Hsp) 25 and class II MHC antigen, *Cell Tissue Res.*, 315: 311-319, 2004
- 5) Eriko Kitamura, Roxana Stegaroiu, Shuichi Nomura, Osamu Miyakawa: Influence of marginal